

グラフで見る関西経済(2021年9月)

2021年9月28日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナの影響で厳しい状況にあるが、持ち直している

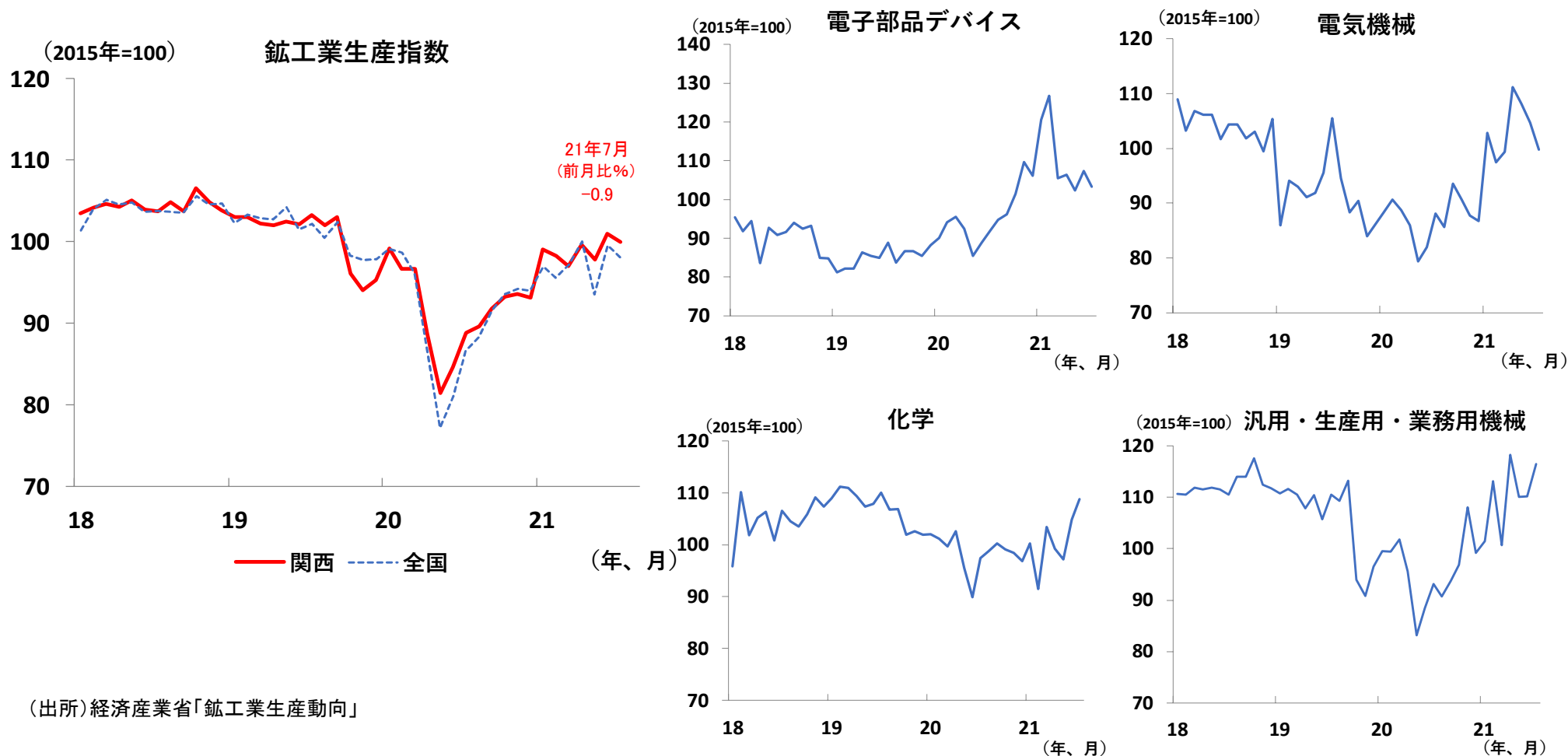
【今月のポイント】

- 生産(7月)は2ヶ月ぶりに減少。電子部品デバイス、電気機械などが減少した。先行きは半導体不足による組立業種の下振れのリスクがあるが、基調としては持ち直しが続くと思われる。
- 実質輸出(8月)は2ヶ月ぶりに前月比で増加。名目輸出の動きをみると半導体電子部品などが増加した。
- 個人消費は総じて弱い動きが続く。

項目	現状
景気全般	新型コロナの影響で厳しい状況にあるが、持ち直している
生産	持ち直している
輸出	増加している
設備投資	持ち直しの動きが見られる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	減少している
個人消費	弱い動きがみられる
住宅投資	持ち直しの動きが見られる
公共投資	横ばい圏で推移している

生産

7月の鉱工業生産(関西)は前月比-0.9%と2ヶ月ぶりに減少。電子部品デバイス、電気機械などが減少した。先行きについては、半導体不足などの影響で加工・組立業種などで下振れるリスクがあるが、基調としては持ち直しが続くと思われる。

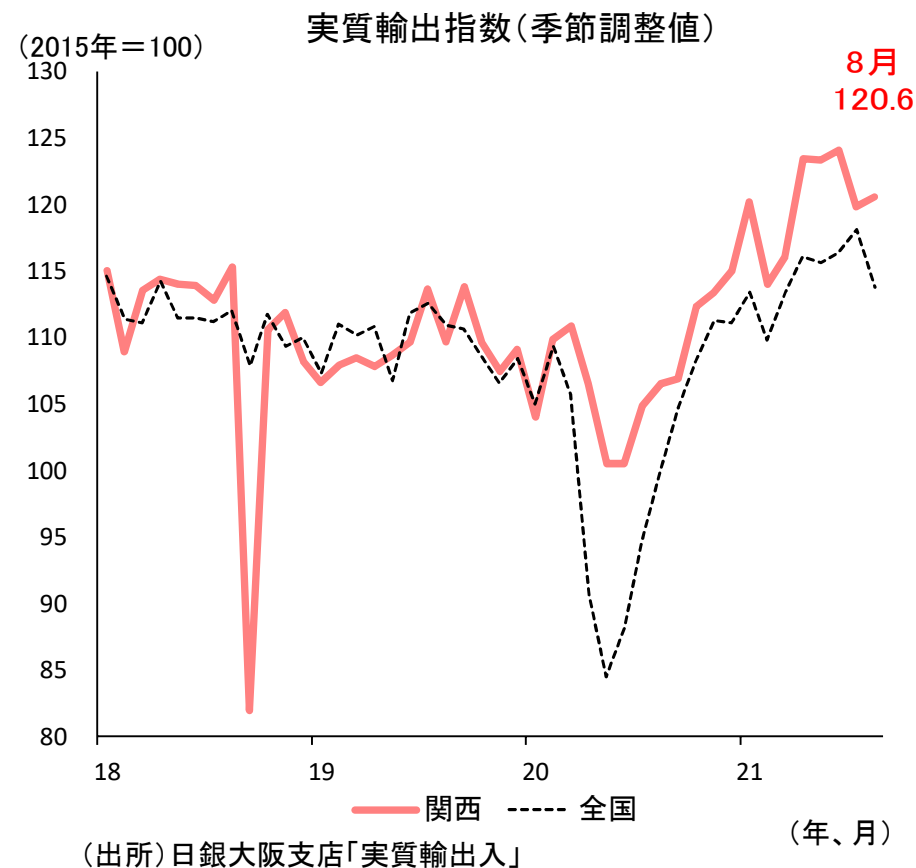
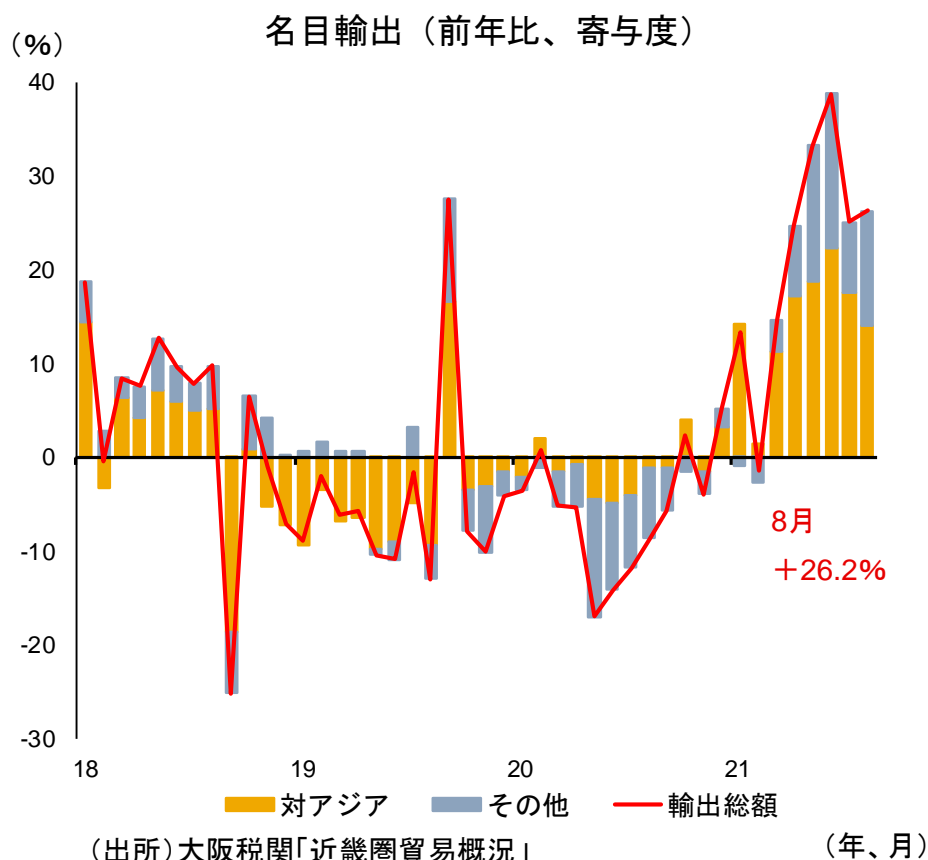


(出所) 経済産業省「鉱工業生産動向」

輸出

8月の名目輸出額は前年比+26.2%と6ヶ月連続で増加。地域別では、アジア、米国、EU、その他いずれれも増加した。品目別では、半導体等電子部品、プラスチックなどが大幅に増加した。

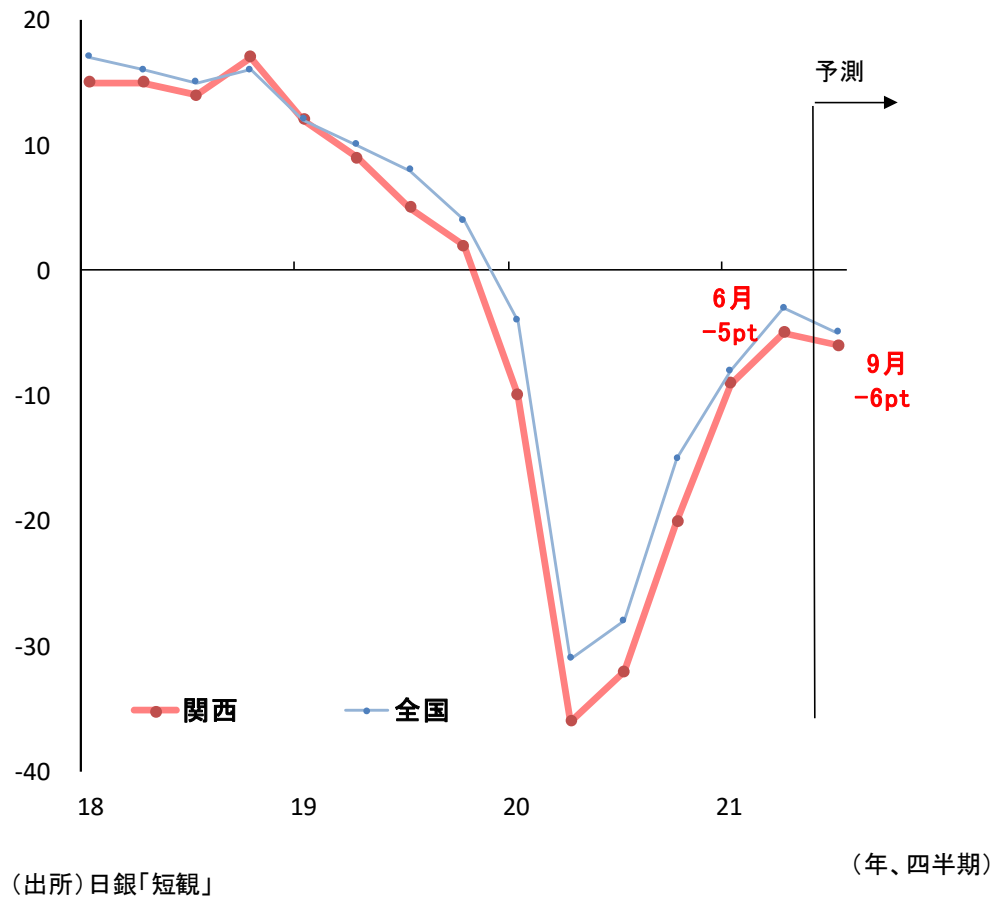
8月の実質輸出(季節調整値)は前月比+0.7%と2ヶ月ぶりに増加した。



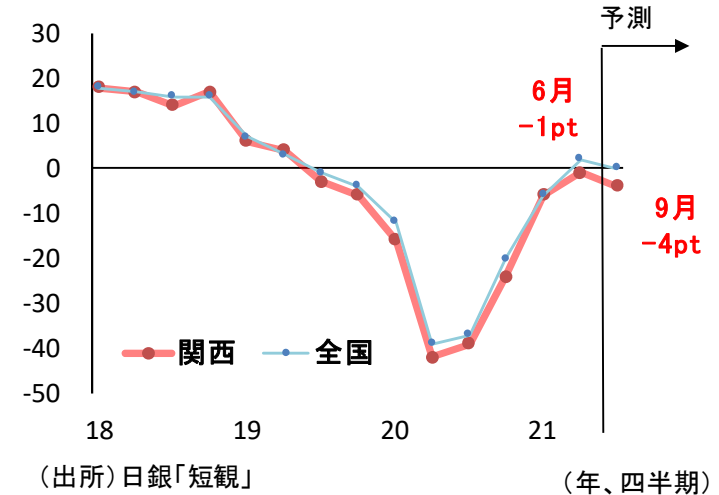
企業景況感(日銀短観) ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査の業況判断DIは全産業で-5ptと3月調査から改善。製造業は-1pt、非製造業は-9pt。先行き(9月)については、全産業、製造業は悪化、非製造業は改善が見込まれている。

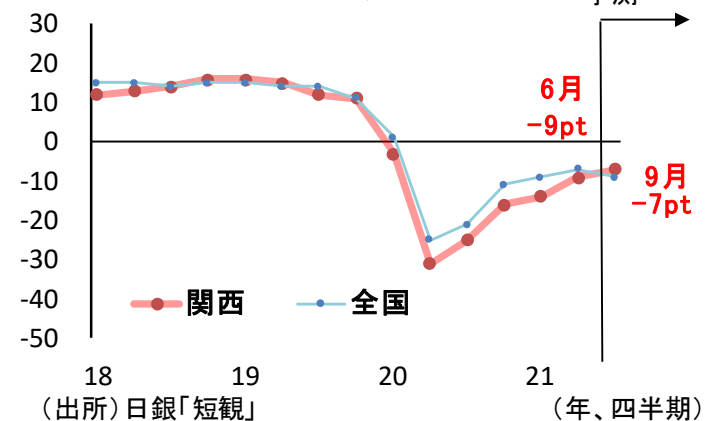
短観 業況判断DI「全産業」



同 製造業

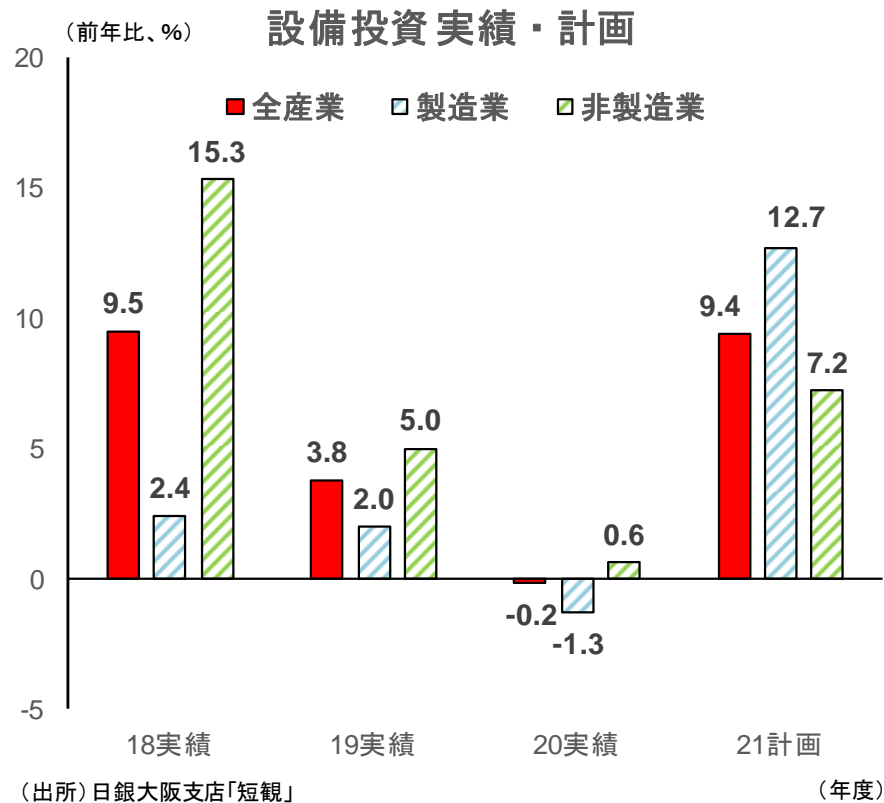


同 非製造業



設備投資※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査によると、21年度の設備投資(計画)は前年比+9.4%と増加が見込まれている。3月調査時と比べて、製造業、非製造業、全産業いずれも上方修正となった。業種別では製造業は鉄鋼業以外は増加、非製造業は小売り、対事業所サービス以外は増加の計画となっている。



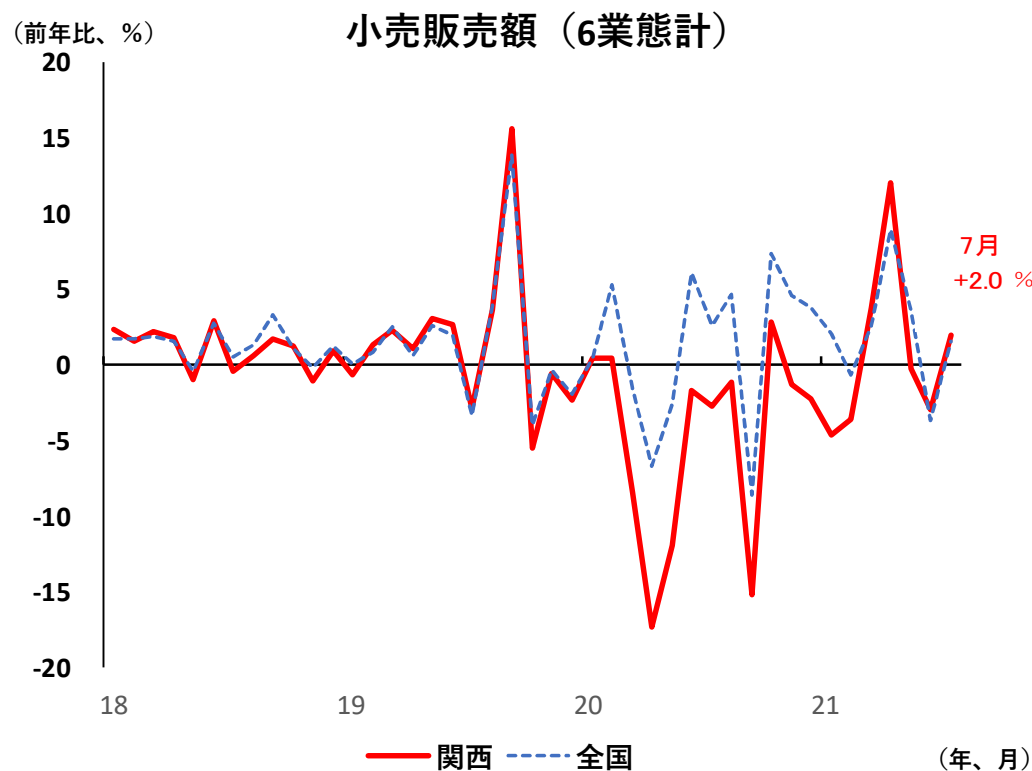
設備投資額(前年比%)

	20年度実績	21年度計画	
		今回	3月調査時 [差異]
全産業	-0.2	9.4	-0.2 9.6
製造業	-1.3	12.7	3.3 9.4
非製造業	0.6	7.2	-2.6 9.8

個人消費(小売売上、自動車販売)

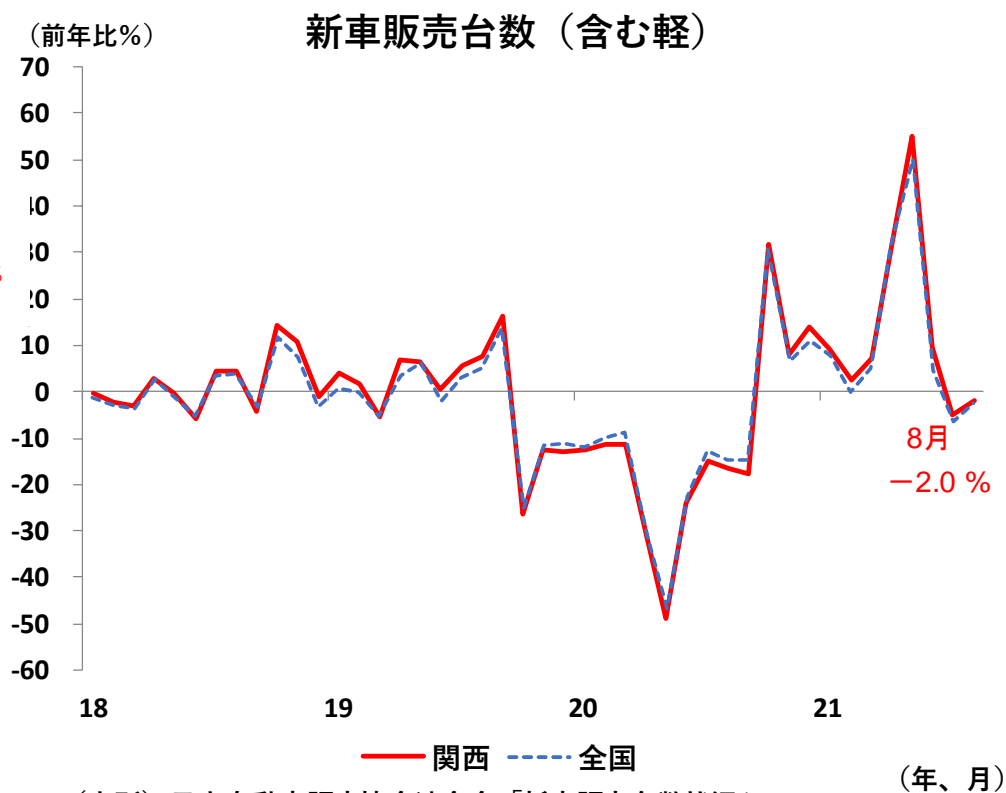
7月の小売販売額は、前年比+2.0%と3ヶ月ぶりに増加した(一昨年比では-0.8%)。

8月の新車販売は、半導体の供給不足による生産調整もあって、前年比-2.0%と2ヶ月連続で減少。一昨年比でも-18.1%と弱い動きとなっている。



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

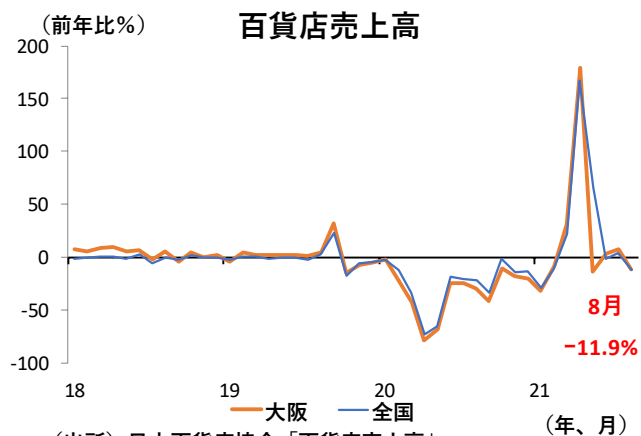


(出所) 日本自動車販売協会連合会「新車販売台数状況」

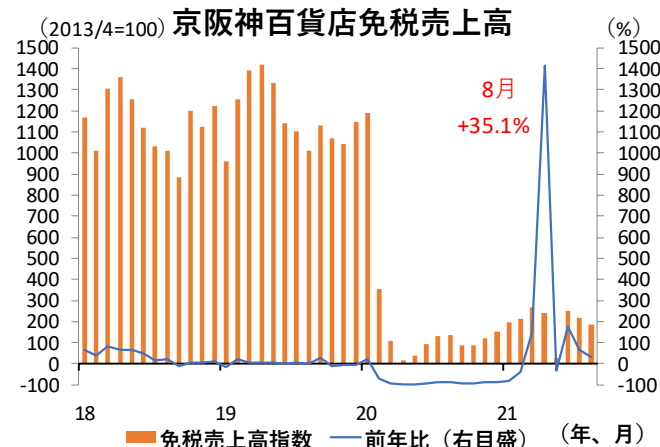
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車新車販売」

個人消費(業態別)

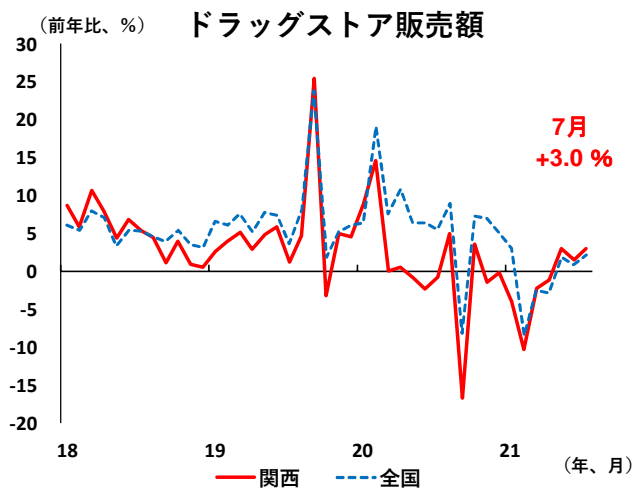
8月の百貨店売上(大阪)は前年比-11.9%と3ヶ月ぶりに減少した(京阪神免税売上は同+35.1%)、一昨年比でも大幅減(-38.0%)が続いており、基調は弱い。
7月の家電は前年の水準が高かったこともあって3ヶ月連続で減少した。



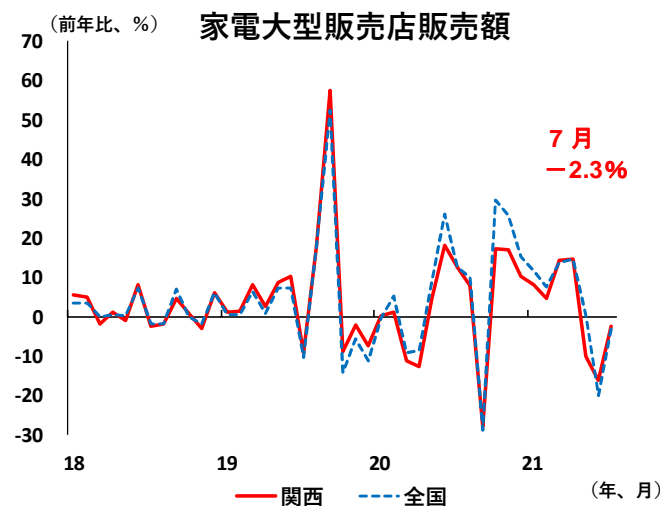
(出所) 日本百貨店協会「百貨店売上高」
(注) 店舗調整後前年比



(出所) 日銀大阪支店「百貨店免税売上(関西)」



(出所) 経済産業省「商業動態統計」

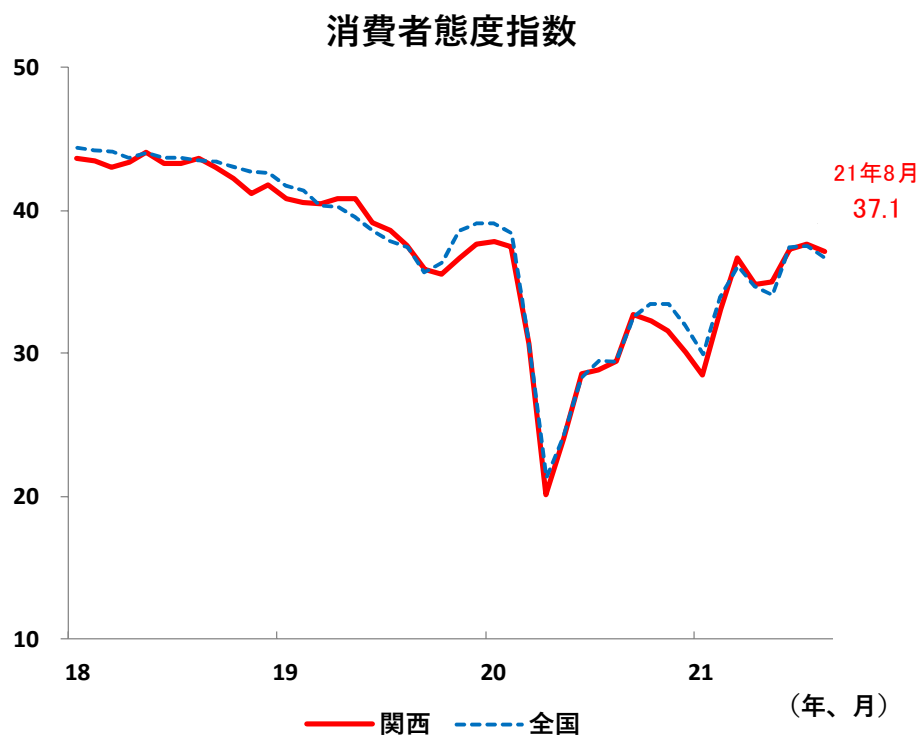


(出所) 経済産業省「商業動態統計」

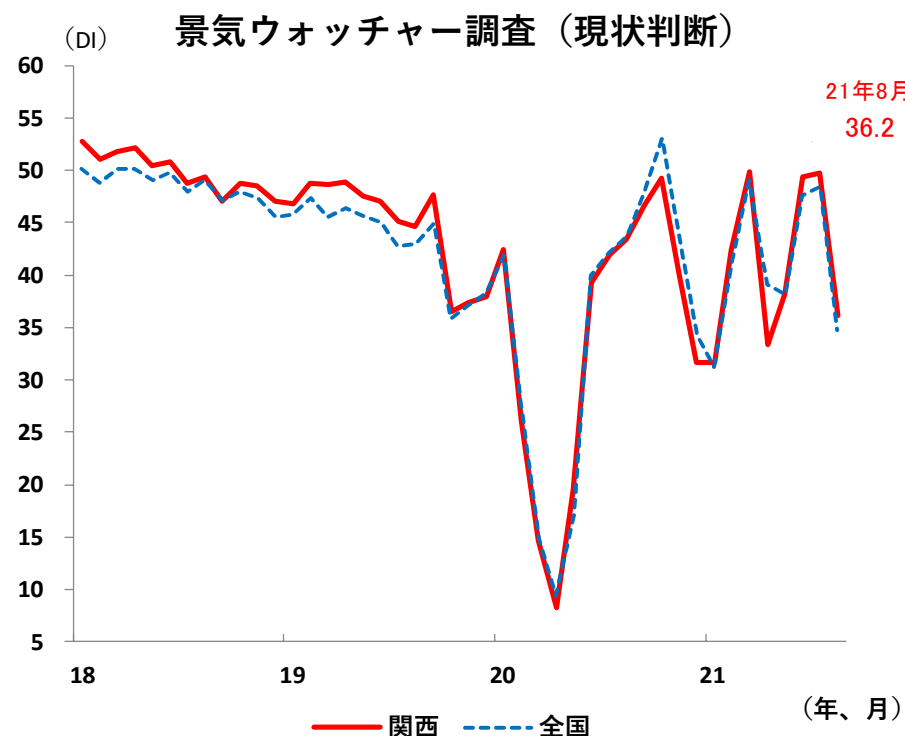
マインド・景況感

8月の消費者態度指数(季節調整値)は37.1と4ヶ月ぶりに低下した。

8月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、前月差-13.5ポイントの36.2と4ヶ月ぶりに大幅に低下した。8月は新型コロナ感染拡大が進み、2日に大阪、20日に京都、兵庫、27日に滋賀で緊急事態宣言が発令されたことが、景況感の大幅な悪化につながった。



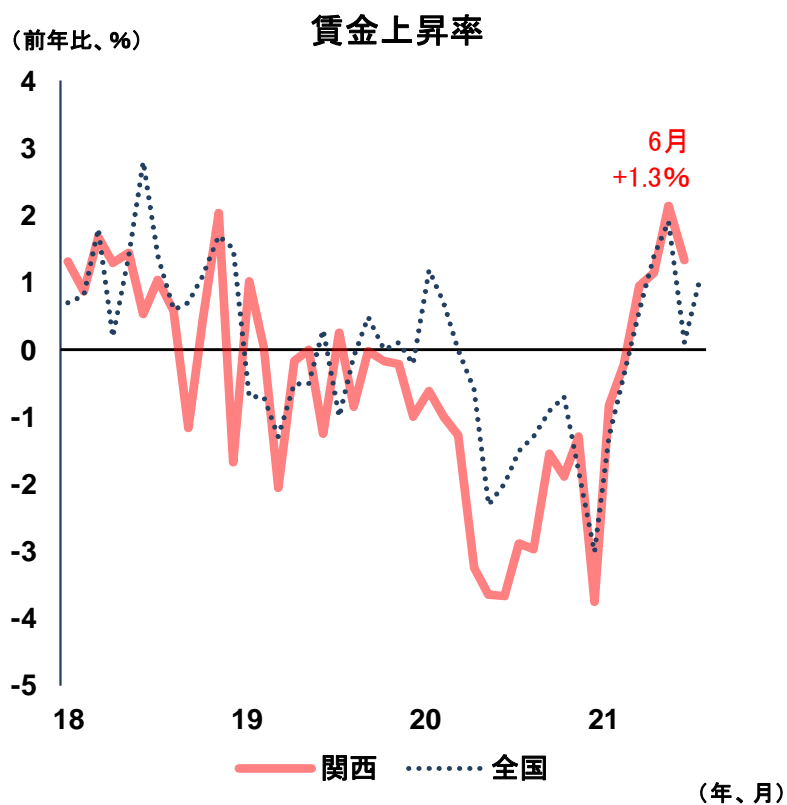
(注) 関西の季節調整値はMURC試算
(出所) 内閣府「消費動向調査」



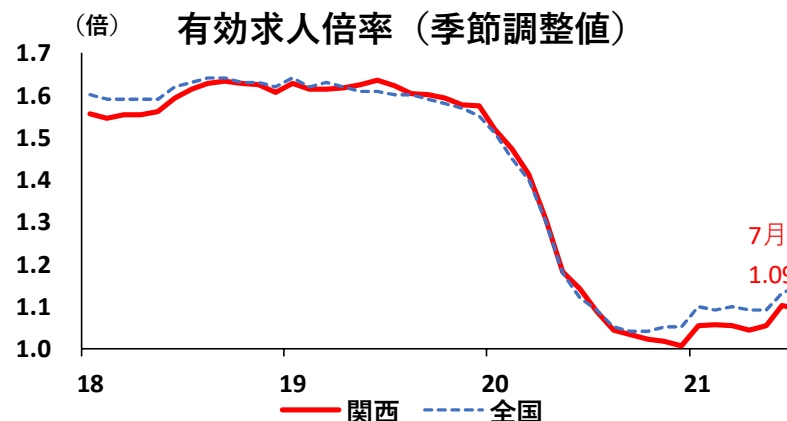
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

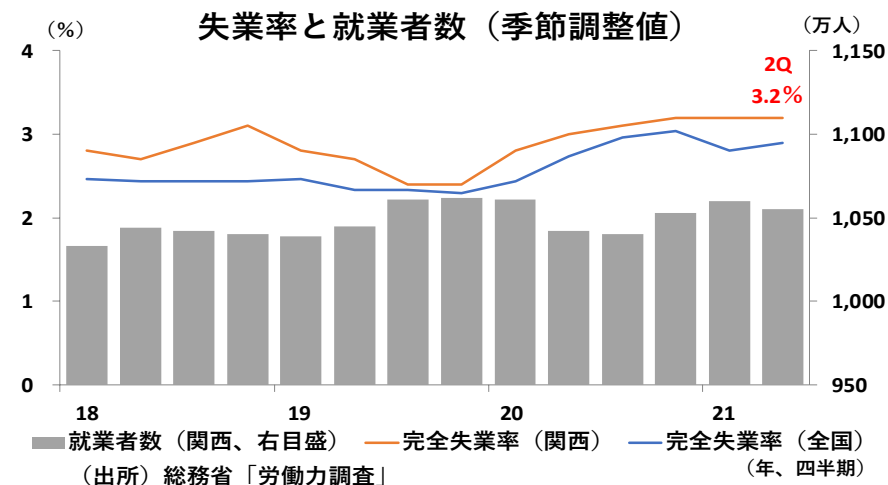
6月の名目賃金指数は、前年比+1.3%と4ヶ月連続で増加したが、一昨年比では-2.4%と減少している。7月の有効求人倍率は1.09倍と前月(1.1)から小幅低下。21年4-6月期の失業率は3.2%と前期から横ばい。就業者数は減少した。



(注) 関西2府4県の名目賃金指数を常用労働者数で按分し合成したもの、MURC試算
(出所) 厚生労働省、各県「毎月勤労統計」

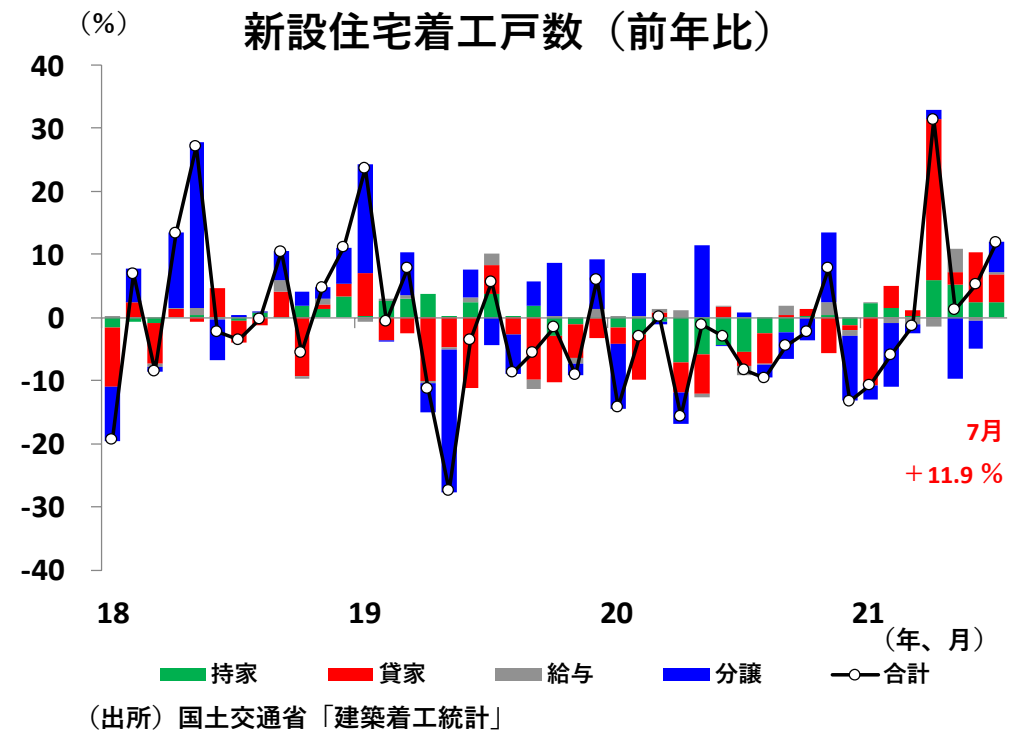
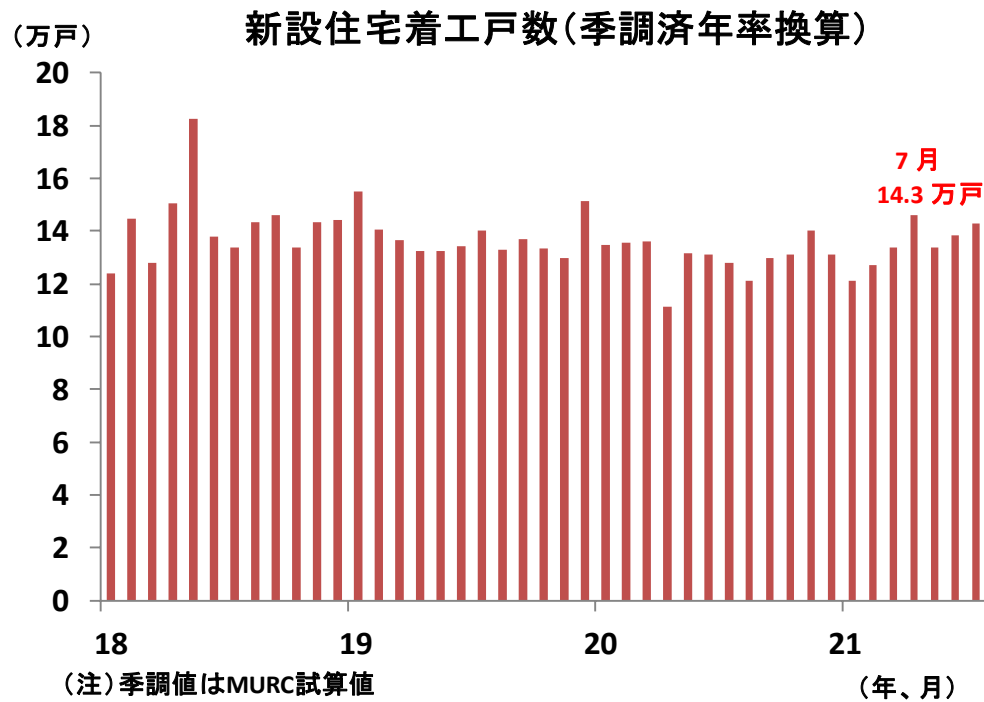


(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



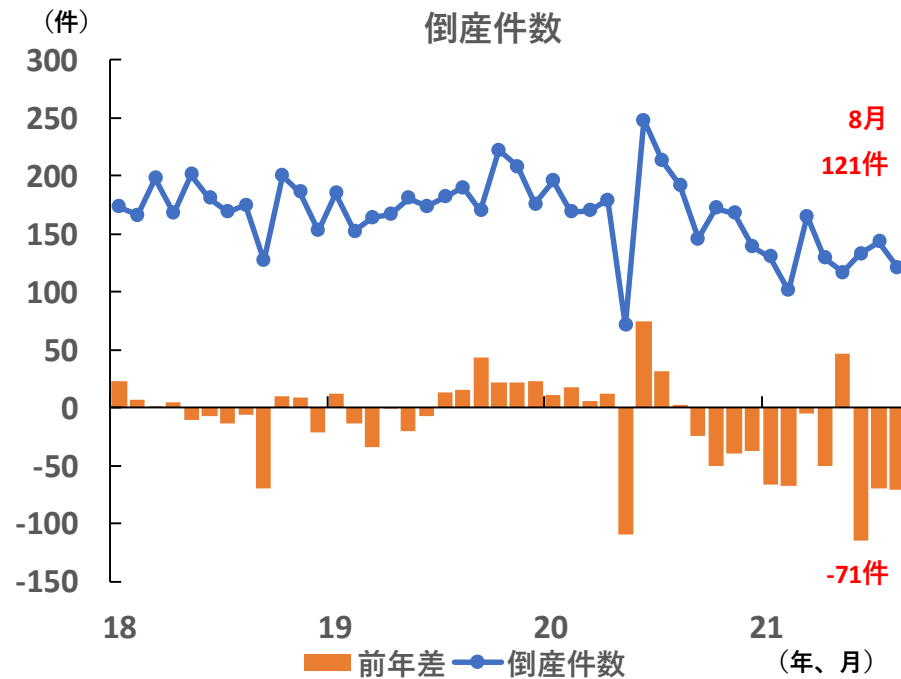
住宅投資

7月の住宅着工は季調・年率14.3万戸、前年比では+11.9%となった。分譲、持家、貸家が増加した。



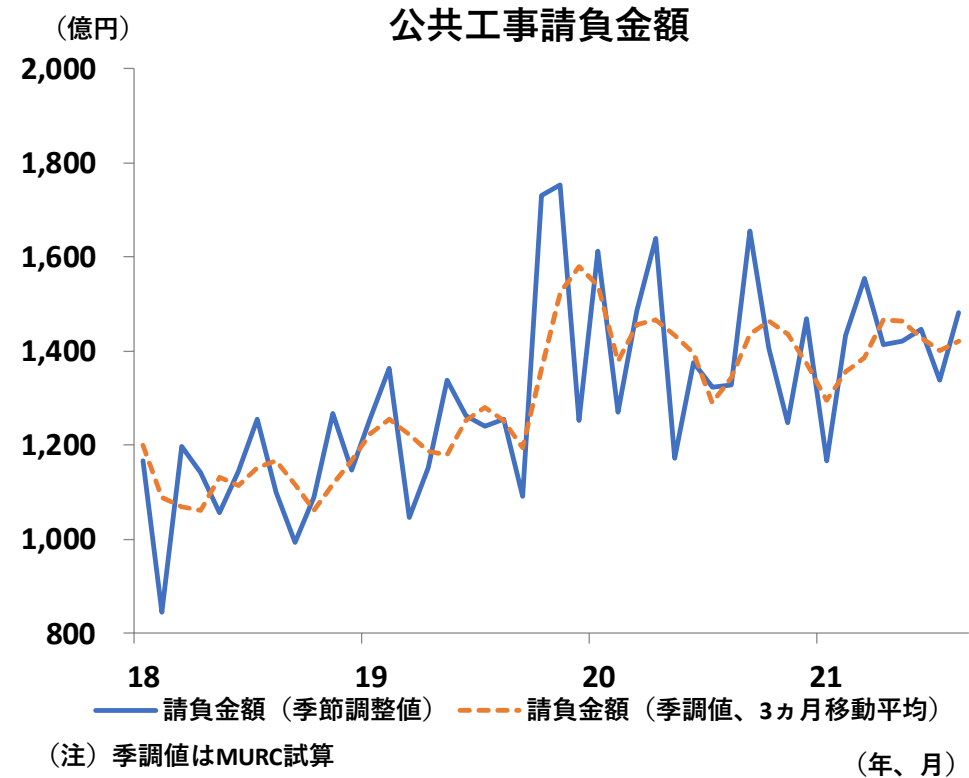
倒産

8月の倒産件数は121件と前年を下回り、低水準で推移している。



公共投資

公共投資は均してみると横ばい圏で推移している。



ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 塚田 TEL:03-6733-1626 E-mail:chosa-report@murc.jp
〒105-8501
東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

— ご利用に際して —

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください